

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : BL SPARKLE COAT シンナー

会社名 : 有限会社プレゼンス

住所 : 神奈川県川崎市幸区南加瀬4-18-1

電話番号 : 044-587-3139

FAX番号 : 044-580-3431

緊急連絡先 : 044-587-3139

推奨用途及び使用上の制限 : 塗料用希釈材

整理番号 : FOC0010202

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 引火性液体 区分2

健康に対する有害性 : 急性毒性(経口) 区分外

急性毒性(経皮) 区分外

皮膚腐食性/刺激性 区分2

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分2

生殖毒性 区分2

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) 区分1

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) 区分1

環境に対する有害性 : 水生環境有害性物質・急性 区分1

上記で記載が無いものは、分類できない、分類対象外

ラベル要素



絵表記 :

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 引火性の高い液体および蒸気

飲み込むと有害のおそれ

吸入すると有害

皮膚刺激

強い眼刺激

生殖能または胎児への悪影響のおそれ



中枢神経系の障害

長期または反復暴露による腎臓、肝臓、中枢神経系の障害

水生生物に毒性

国、地域情報： 消防法 危険物 第四類 第一石油類 「火気厳禁」 危険等級Ⅱ

注意書き

安全対策：環境に放出しない様に注意して取り扱うこと。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

取扱中は、皮膚に触れない様に注意し、保護眼鏡(ゴーグル型)、保護手袋、保護マスク、保護衣などの適切な個人用保護具を着用すること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

救急措置： 吸入した場合は、被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けさせること。

呼吸に関する症状が出た場合には、医師の診断／手当てを受けること。

飲み込んだ場合は、口をすすぎ、医師の診断／手当てを受けること。

眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗い、医師の診断／手当てを受けること。

皮膚または髪に付着した時は多量の水と石鹼で洗い、衣類が汚染された時は直ちに全てを取り除くこと。

皮膚刺激が生じた時は、医師の診断／手当てを受けること。

汚染された衣類は直ちに脱ぎ、廃棄すること。

暴露または暴露の懸念がある時は、医師の診断／手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。

保管： 容器を密閉し、直射日光を避け、熱源から離れた換気の良い場所で、施錠して保管すること。

廃棄： 内容物／容器等の製品付着物は関係法令に従って廃棄すること。

3. 組成・成分情報

単一化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名	CAS No.	含有率	官報公示整理番号
酢酸エチル	141-78-6	30～40%	(2)-726
シクロヘキサン	110-82-7	30～40%	(3)-2233
イソブタノール	78-83-1	10～20%	(化)(2)-3049、(安)2-(8)-395
プロピレングリコールモノメチルエーテル	107-98-2	20～30%	(2)-404
ジアセトンアルコール	123-42-2	20～30%	(化)(2)-587 (安)2-(8)-285

4. 応急措置

下記の応急措置を施すとともに、直ちに医師に連絡をとりその指示に従う。



吸入した場合：負傷者を新鮮な空気のある場所に移動し、休息させる。
嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。
水でうがいをする。

皮膚に付着した場合：すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。
皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹼水で洗う。

眼に入った場合：直ちに清浄な水で5分間以上洗い流す。
眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。
眼球を傷つける可能性があるのでこすらない。

飲み込んだ場合：嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。
事故の場合または気分が悪いときは、直ちに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受け、この容器に記載された注意事項やラベル、MSDSを示す。
飲み込んだ場合は、水で口内を洗う(その人の意識がある場合のみ)。

応急措置をする者の保護：救急者は、保護具を着用する(曝露防止措置の注意事項を参照)。

医師に対する特別注意事項：直ちに医師の診断を受け、この容器のラベルに記載された注意事項又はMSDSを示す。

5. 火災時の措置

消火剤：泡、二酸化炭素、粉末。

特定の消火方法：周辺火災の場合：移動不可能な場合、容器、梱包及び周辺に散水し冷却する。
着火した場合：火元(燃焼源)を断ち適切な消火剤を用いて風上から消火。

消火を行う者の保護：火災により有毒ガスやヒュームが発生するので、適切な呼吸用保護具(送気マスク、自給式呼吸器等)を着用する。

6. 漏出時の措置

関係法規に準拠して作業する。

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ：作業者は保護具(曝露防止措置及び保護措置の項を参照)を着用し、風上で作業する。
- 屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行う。
- 漏出した場所の周辺にはロープを張る等して、関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項：漏出物が河川、水路等公共水路に流れ込むのを防止する。

除去方法

回収：漏出液を密閉可能な容器にできる限り集める。
残留液は土、砂等に吸着させて密閉可能な容器に回収する。
回収するときは、火花のでない器具を用いて回収する。

廃棄：回収した漏出物は廃棄上の注意に従って廃棄する。

二次災害防止策：付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
火気厳禁。
漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。
万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

7. 取扱い及び保管上の注意

関係法規に準拠して作業する。

取扱い：容器は注意して取扱い、開ける。
使用時には飲食しない。
皮膚との接触を避ける。
眼との接触を避ける。
眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。
すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。
皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹼水で洗う。

技術的対策：静電気放電に対する予防措置を講ずる。
周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
電気機器類は、防爆型(安全増型)のものを用いる。
換気のよい区域でのみ使用する。
取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。
作業中のコンタクトレンズの着用は好ましくない。
眼／顔面用の保護具を着用する。
適当な保護衣および眼／顔面用の保護具を着用する。
取扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。

注意事項：取扱いは換気のよい場所で行う。

局所排気装置の設置された場所で作業する。

安全取扱い注意事項 : 知見なし

保管

適切な保管条件 : 法規に従って、耐火構造、危険物施設に保管する。

容器を換気のよい場所で保管する。

消防法危険物1, 6類と混載してはならない。

冷所で保管する。

熱から離して保管する。

着火源から離して保管するー禁煙。

容器を密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 密閉された装置、機器または局所排気装置を使用して取扱う。

取扱い場所の近くにシャワー・手洗い・洗眼設備等を設けその位置を表示する。

許容濃度

管理濃度 : 酢酸エチル 200ppm

シクロヘキサン 設定されていない

イソブタノール 50ppm

プロピレングリコールモノメチルエーテル 設定されていない

ジアセトンアルコール 設定されていない

日本産業衛生学会 : 酢酸エチル 200ppm 720mg/m³

シクロヘキサン 150ppm 520mg/m³

イソブタノール 50ppm 150mg/m³

プロピレングリコールモノメチルエーテル 設定されていない

ジアセトンアルコール 設定されていない

ACGIH : 酢酸エチル TWA 400ppm(ACGIH)

シクロヘキサン TWA 100ppm(ACGIH)

イソブタノール TWA 50ppm(ACGIH)

プロピレングリコールモノメチルエーテル TWA 100ppm(ACGIH)

ジアセトンアルコール TWA 50ppm(ACGIH)

保護具

呼吸器の保護具 : 有機溶剤用マスク。



PRESENCE Co., Ltd.
FOC0010202

本製品を多量に使用する場合、または密閉空間で使用する場合には、送気式もしくは自給式呼吸器を推奨する。

手の保護具 : 不浸透性帯電防止手袋。

目の保護具 : 保護眼鏡(ゴーグル型)または保護面(防災面)。

皮膚及び身体の保護具 : 帯電防止性能を有する、長袖の保護衣及び安全靴を推奨する。

9. 物理的及び化学的性質

製品として

物理的状态

形状 : 液体

色 : 無色透明

臭い : 溶剤臭

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲: データなし

引火点 : 0°C

発火点 : 260°C(参考値)

爆発限界 : 0.6%~11.5%(参考値)

密度 : 0.87(20°C 比重として)

溶解性 : 水に不溶。

その他のデータ : 特になし。

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の保管及び取扱いの条件では安定と考えられる。

反応性 : 知見なし。

危険有害な分解生成物 : 知見なし

11. 有害性情報

酢酸エチルとして

急性毒性 : ◇経口毒性・・・ラット	LD50	5000mg/kg
◇経皮毒性・・・ラビット	20mL/kg	
◇吸入毒性・・・ラット	LC50	16000ppm/6H

シクロヘキサンとして

急性毒性 : ◇経口毒性・・・ラット	LD50	5000mg/kg
--------------------	------	-----------

◇経皮毒性・・・ラビット	LD50	情報を有していない
◇吸入毒性・・・ラット	LC50	情報を有していない

イソブタノールとして

急性毒性：◇経口毒性・・・ラット	LD50	2,460mg/kg
◇経皮毒性・・・ラビット	LD50	3,400mg/kg
◇吸入毒性・・・ラット	LC50	8,000ppm/4H

プロピレングリコールモノメチルエーテルとして

急性毒性：◇経口毒性・・・ラット	LD50	6100mg/kg
◇経皮毒性・・・ラビット	LD50	13000mg/kg
◇吸入毒性・・・ラット	LC50	情報を有していない

ジアセトンアルコールとして

急性毒性：◇経口毒性・・・ラット	LD50	4,000mg/kg
◇経皮毒性・・・ラビット	LD50	13,630mg/kg
◇吸入毒性・・・ラット	LC50	情報を有していない

12. 環境影響情報

製品として

生体蓄積性：情報なし

13. 廃棄上の注意

この製品及び容器・包装材は安全な方法で廃棄しなければならない。

残余廃棄物：本製品はPRTR法第一種指定化学物質を含有しない。

本製品は環境中に放出してはならない。

この製品は排水溝中に空けてはならない。

内部処理の場合：法令に従って、残余廃棄物、製品の包装材を廃棄処理する。

法的規制に適合した設備と方法で焼却処理を行う。

焼却条件によっては有毒ガスが発生する可能性があるため、除害装置のある焼却炉の使用を推奨する。

外部委託処理の場合：産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、廃棄物の内容を明確にして、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国連分類：クラス3(引火性液体)



国連番号 :1263

容器等級 :Ⅲ

特定の安全対策及び条件 :保護具、消火器を携帯する。

必要であれば、イエローカードを携帯する。

容器に漏れのないことを確認し、落下、転倒、破損がないように積載し、荷崩れ防止を確実にを行う。

消防法, 道路法, 船舶安全法, 航空法の基準に従い積載・運送を行う。

積載方法 :運搬時の積み重ね高さ3m以下。

海上輸送 :船舶安全法:危規則第2, 3条危険物告示別表第1引火性液体類の基準に従い積載、運送する。

航空輸送 :航空法:施行規則第194条危険物告示別表第1引火性液体の基準に従い積載、運送する。

15. 適用法令

労働安全衛生法 :

名称等を通知すべき有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)

酢酸エチル(政令番号 第177号)、シクロヘキサン(政令番号 第232号)、イソブタノール(政令番号 第477号)、プロピレングリコールモノメチルエーテル(政令番号 第496号)、ジアセトンアルコール(政令番号 第202号)

危険物・引火性の物(施行令別表第1第4)

第2種有機溶剤等(施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号)

名称等を表示すべき有害物(施行令第18条)

毒物及び劇物取締法 :該当せず

消防法 :第4類引火性液体 第一石油類(非水溶性)

悪臭防止法 :特定悪臭物質(施行令第1条)

大気汚染防止法 :有害大気汚染物質 法第2条第13項(中央環境審議会答申、1996.10.18)

揮発性有機化合物 法第2条第4項 (環境省から都道府県への通達)

船舶安全法 :引火性液体類(危規則第3条危険物告示別表第1)

航空法 :引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)

道路法 :道路法施行令19条の13:車両の通行の制限(消防法別表指定数量より積載量200リットル以下は除外)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法):第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)

労働基準法 :疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条・別表第1の2第4号1・昭53労告36号)

16. その他の情報



PRESENCE Co., Ltd.
FOC0010202

本文書は製品の安全情報を記したものです。品質保持上の諸要件については技術資料、仕様書等をご参照下さい。

保護具に関する詳細については(社)日本保安用品協会(TEL:03-5804-3125)にお問い合わせ下さい。

参考文献：日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」

溶剤ポケットブック(オーム社)

危険防災救急便覧

ザックス有害物質データブック(丸善)

化学物質の危険・有害便覧(中央労働災害防止協会)

国際化学物質安全性カード(ICSC)

Registry of Toxic Effects of Chemical Substances(RTECS)

作業環境評価基準

産業衛生学会雑誌

2001 TLVs and BEIs(ACGIH)

米国連邦規則集(OSHA)

IARC Monographs on the Evaluation of Carcinogenic Risk to Humans(IARC)

法規制物質リスト(日本ケミカルデータベース)

ケミカルデータベース(日本ケミカルデータベース)

GHS分類結果データベース(製品評価技術基盤機構 NITE)

CHEMGOLD2 (ChemWatch)

本データシートは、一般的な工業的用途について、「製品の適切な取扱い」を確保するための参考情報として提供されるもので、製造者の保証書ではありません。現時点で信頼し得ると考えられる資料並びに測定等に基づき作成したものであります。ご需要家各位は、これを参考として自らの責任において個々の取扱い等の実態に応じた適切な措置をお取り下さるようお願い致します。